

マニュアル (No.04)

◆ 型抜きをする ◆

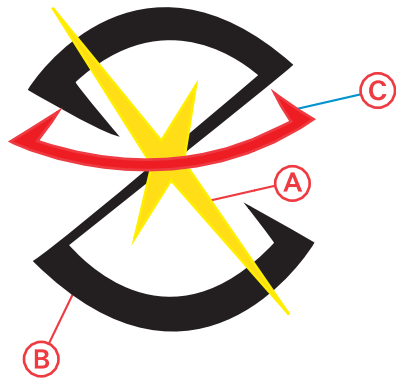
< Ver.1.2 >

<練習ファイル>

型抜きをする .ai

◆ 型抜きをする ◆〈その1〉


- ① まず、(A)～(C)のオブジェクトのそれぞれの線をなしにして塗りだけの状態にする

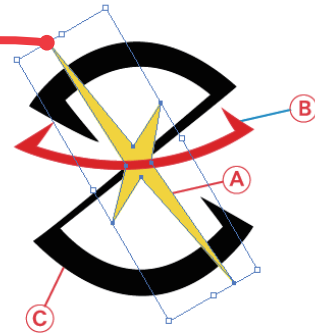


オブジェクト (A)

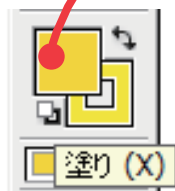
オブジェクト (B)

オブジェクト (C)

- 1) まず、オブジェクトを選択ツール () で選んでから塗りや線をきりかえる準備をする




- 2) この2つの位置をマウスでクリックすることで塗りと線のきりかえができる



塗りが
選ばれている
状態

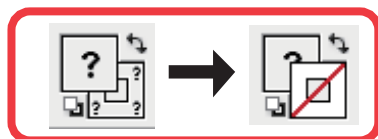


線が
選ばれている
状態

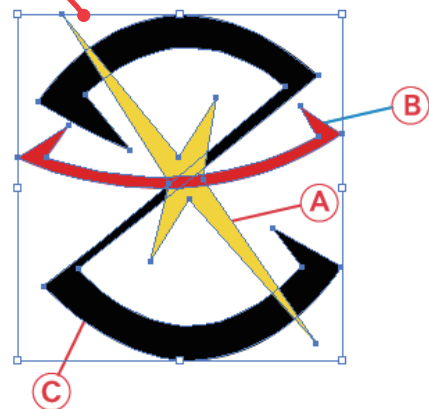
- 3) 線や塗りをなしにするには、「なし」  をクリックする



複数のオブジェクトを選択したとき
線や塗りの色が違うと?になります




線をなしの状態にする



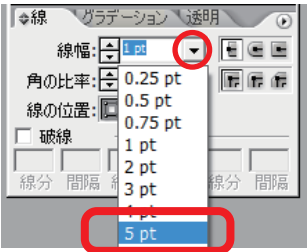
② 線を太くして型抜きを実行する

- 1) ①を選択ツールで選んでCtrl+Cでコピーしてパソコンに記憶させる
- 2) ①に線をつけて、色は赤色で、5 ptにする


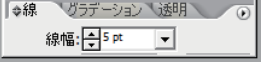


線を選択 色を赤色 線と塗りの状態



線パレットで5 ptを選ぶ ①はこの状態になる




ここをクリックすると表示が切り替わる

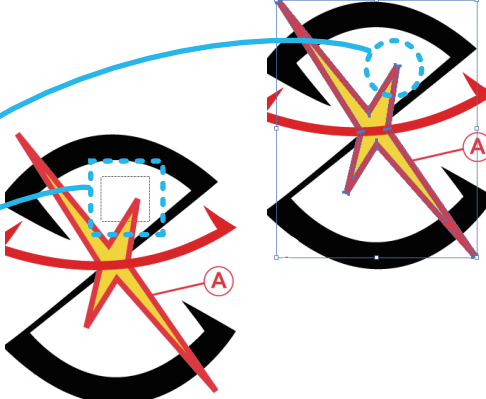
この矢印を押すと塗りと線を切り替える

- 3) ①を「オブジェクト」→「パス」→「パスのアウトライン」でアウトライン化する
- 4) 何も無いところをクリックして、いったん**選択解除**する

5) 選択ツールで

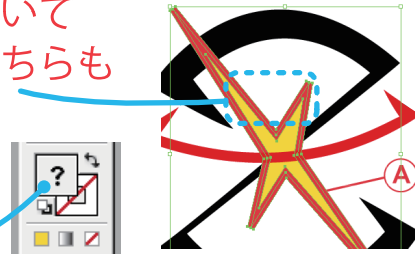


①の塗りと線のラインが
つながるように四角く
きちんと囲う



※選択をきちんとしていないと型抜きがうまく出来ない

アウトライン化とは、塗りの状態にすることをいう
 実際は、線は塗りの状態になっていて
 この場合、黄色と赤色の部分はどちらも
 塗りの状態になっている
 選んでいるオブジェクトの
 色が異なる場合? と表示される



- 6) 選んだ ① を「オブジェクト」→「アレンジ」→「最前面へ」
 で最前面にする

(※必ず最前面にする)

アウトライン化して選んだ塗りと線だったラインが
 別々の位置になっているので
 同じ位置にするためと、型抜きがスムーズに
 行われるために最前面にする

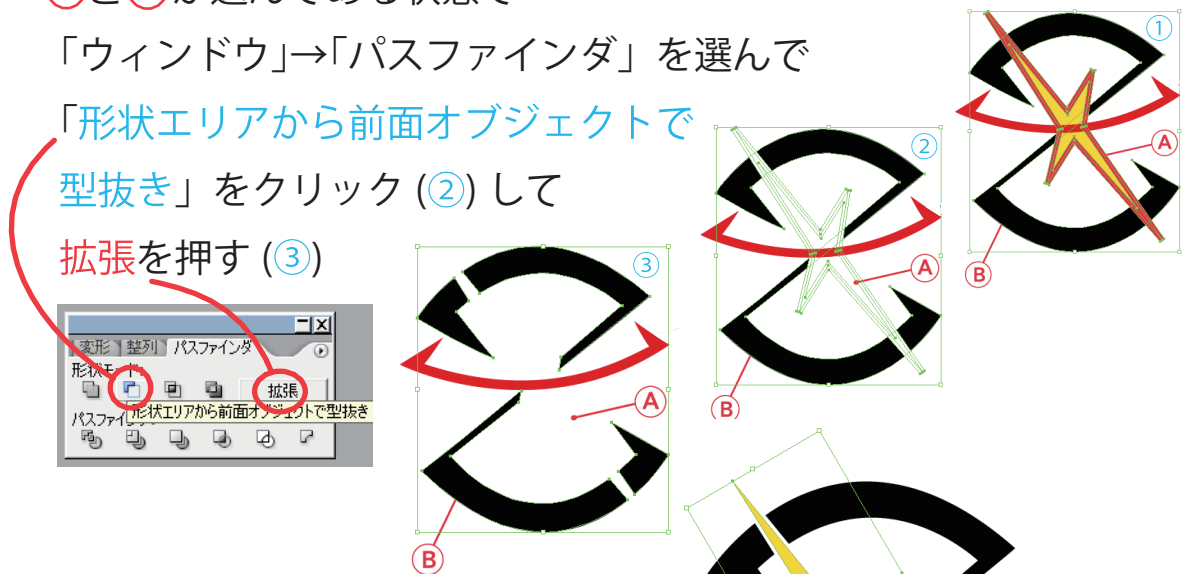
- 7) ① が選んである状態で ② を Shift を押しながら選ぶ (①)

① と ② が選んである状態で

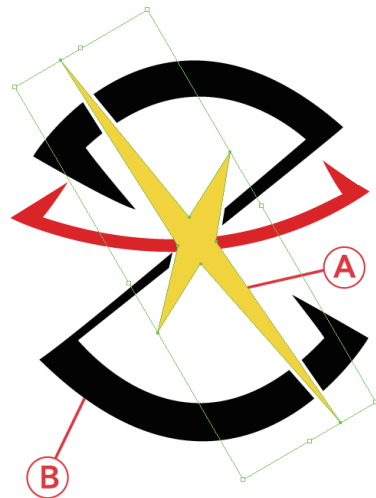
「ウィンドウ」→「パスファインダ」を選んで

「形状エリアから前面オブジェクトで
 型抜き」をクリック (②) して

拡張を押す (③)

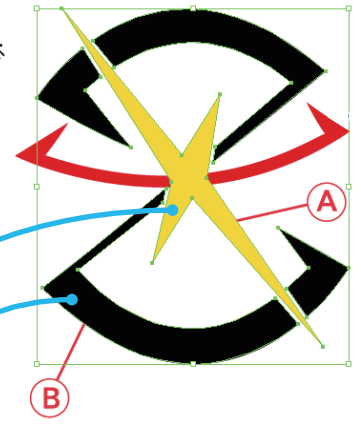


- 8) Ctrl+F でオブジェクト ① を
 貼り付ける



◆ 型抜きをする ◆

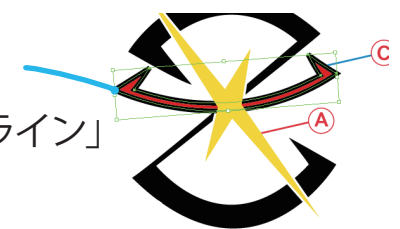
- 9) ①と②が選択ツール(☒)で選んである状態で「オブジェクト」→「グループ」を選んでグループ化する(オブジェクト①②)
または、Ctrl+Gでグループ化する
グループ化したものは見た目上くっついた状態になる オブジェクト①②
なにもないところをクリックして選択解除する



- 10) ③を選択ツールで選んで
Ctrl+Cでコピーしてパソコンに記憶させる



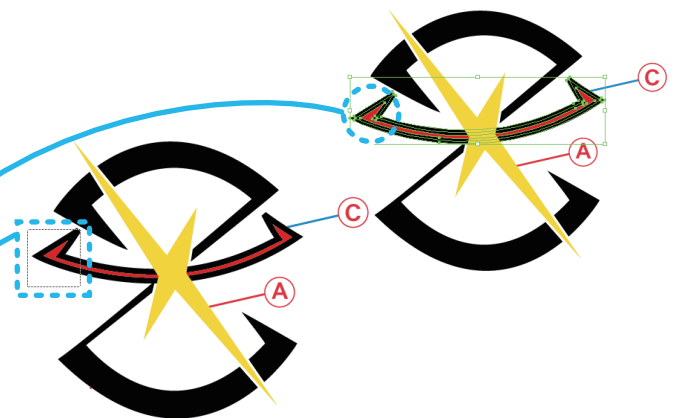
- 11) ③に黒色で線をつけて、5 ptにする



- 12) ③を「オブジェクト」→「パス」→「パスのアウトライン」で アウトライン化 する

- 13) 何もないところをクリックして、いったん 選択解除 する

- 14) 選択ツールで
③の塗りと線のラインが
つながるように四角く
きちんと囲う



※選択をきちんとしていないと型抜きがうまく出来ない

- 15) 選んだ③を「オブジェクト」→「アレンジ」→「最前面へ」で最前面にする

(※必ず最前面にする)

アウトライン化して選んだ塗りと線だったラインが別々の位置になっているので
同じ位置にするためと、型抜きがスムーズに行われるために最前面にする

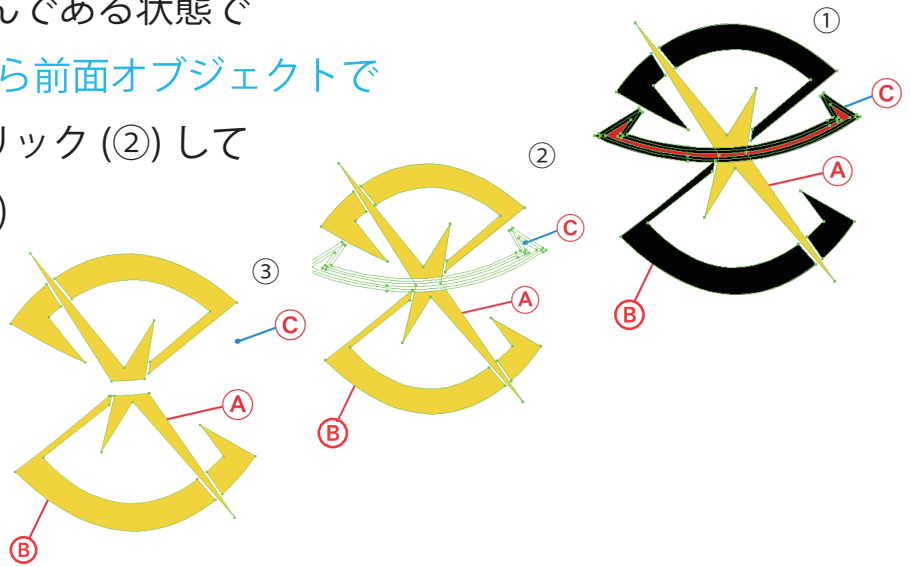
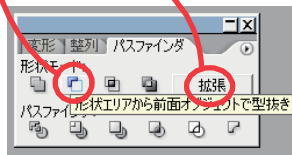
16) ③が選んである状態で ①②を Shift を押しながら選ぶ (①)

③と ①②が選んである状態で

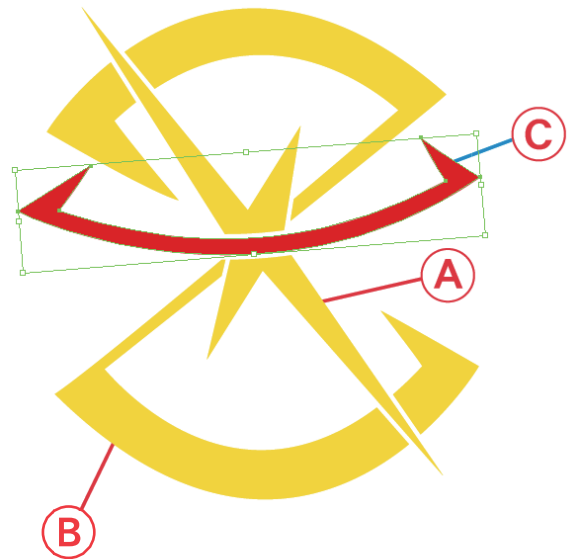
「形状エリアから前面オブジェクトで

型抜き」をクリック (②) して

拡張を押す (③)



17) Ctrl+F でオブジェクト ③を
貼り付ける



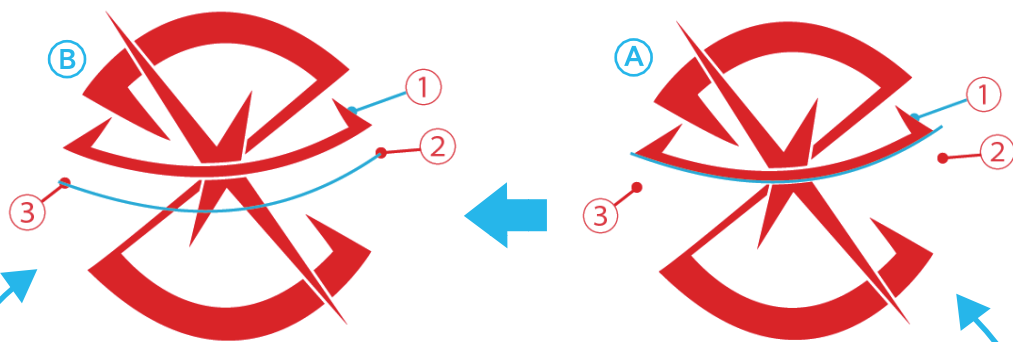
18) ③と ①②を選択ツール (■) で選んで、


「形状エリアに追加」を実行して

拡張を押して合体する

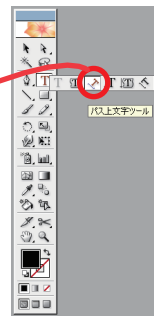


◆ 型抜きをする ◆〈その2〉



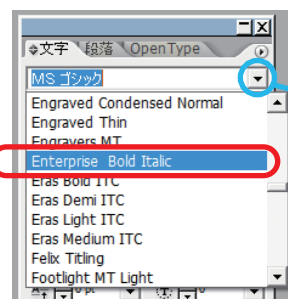
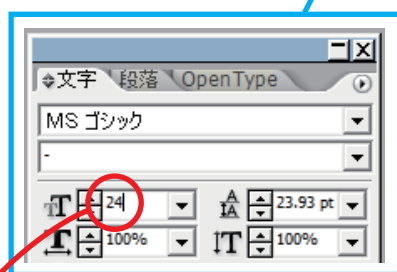
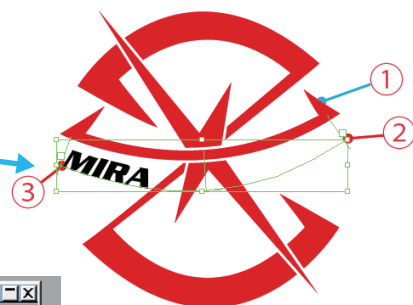
- 1) ① のラインに合わせてパスで曲線を描いて (A) 曲線を選択ツール () で選び直してから ② の位置にキーボードの ↓ キーを使って移動する (B)

- 2) パス上文字ツールを選ぶ



- 3) 曲線②の文字を打つ開始地点③で クリックして文字を打つ

「ウィンドウ」→「書式」→「文字」で 文字パレットを表示する



ここをクリックして 下を表示し

文字の書体 : A-22 (Enterprise Bold Italic) をえらぶ

24 と入力して Enter を押し 文字のサイズ : 24pt にする

- 4) ③ の位置から入力した文字を 「書式 (T)」 の 「アウトラインを作成」で アウトライン化する



5) ③の文字を選択ツールで選んで

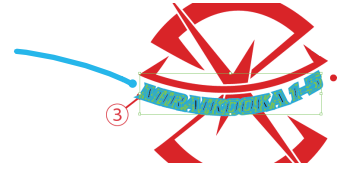
Ctrl+C でコピーしてパソコンに記憶させる



6) ③の文字に青色で線をつけて、5 p tにする

7) ③の文字を「オブジェクト」→「パス」→

「パスのアウトライン」でアウトライン化する



8) 何も無いところをクリックして、いったん選択解除する

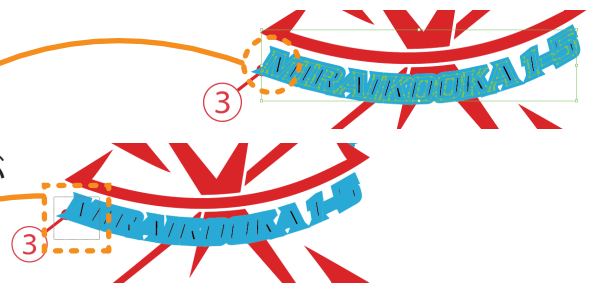
9) 選択ツールで



③の文字の塗りと線のラインが
つながるように四角く

きちんと囲う

※選択をきちんとしていないと型抜きがうまく出来ない



アウトライン化とは、塗りの状態にすることをいう

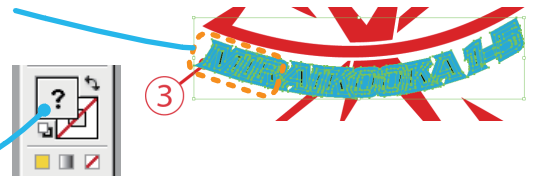
実際は、線は塗りの状態になっていて

この場合、黒色と青色の部分はどちらも

塗りの状態になっている

選んでいるオブジェクトの

色が異なる場合? と表示される



10) 選んだ ③ の文字を「オブジェクト」→「アレンジ」→「最前面へ」
で最前面にする

(※必ず最前面にする)

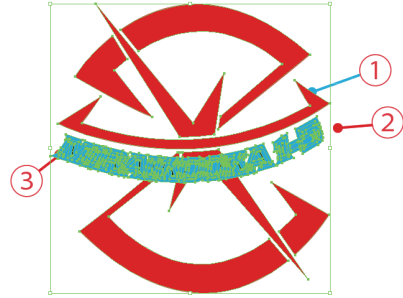
アウトライン化して選んだ塗りと線だったラインが

別々の位置になっているので

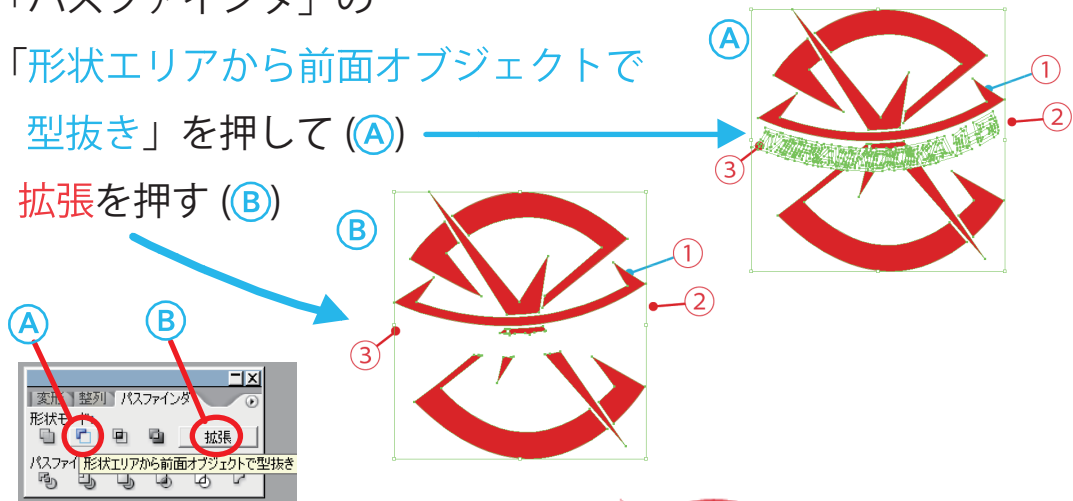
同じ位置にするためと、型抜きがスムーズに

行われるために最前面にする

- 11) ③の文字が選んである状態で
①をふくむ全体を
Shift を押しながら
クリックして選ぶ



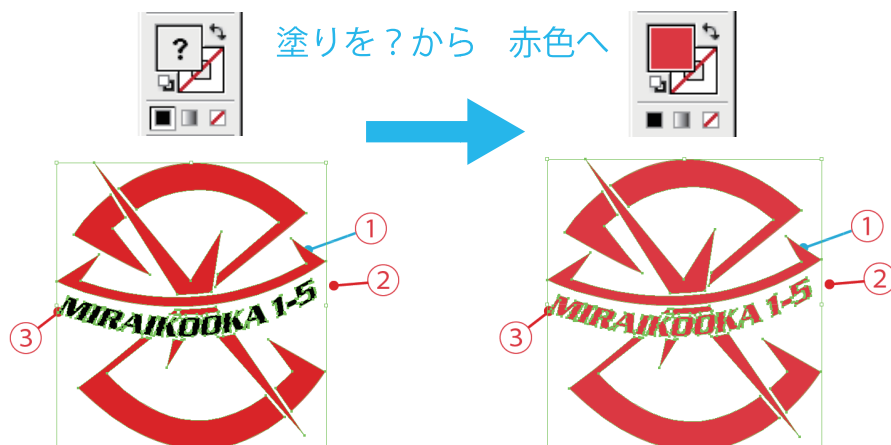
- 12) ③の文字と①をふくむ全体が選んである状態で
「パスファインダ」の
「形状エリアから前面オブジェクトで
型抜き」を押して (A)
拡張を押す (B)



- 13) Ctrl+F で③の文字を貼り付ける



- 14) 選択ツールですべてを選んでから「オブジェクト」→「グループ」で
グループ化し、グループ化したものの塗りを赤色にする



15) 完成!

